

教育ボランティア ニュースレター

第12号
発行日 平成25年 7月

平成25年度も、さっそく多くの教育ボランティアさんに、本学の教育にご協力いただきました。このレターでは、「基礎看護技術演習Ⅱ」での**教育ボランティア**さんの様子や学生の学びをお届けしたいと思います。

心に残る初めての援助体験 ～ボランティアさんの力を借りて～

基礎看護技術演習Ⅱ『総合演習』

6月19日（水）、午前6名、午後6名の教育ボランティアさんをお迎えし、総合演習を行いました。この演習は、1年生から学んできた基礎看護技術のまとめの学習として、また、9月に行う基礎看護学実習に向けての予備学習として、2年生95名が取り組みました。

教育ボランティアさんには、ご自身が肺炎で入院し、酸素吸入や点滴治療を受けていると仮定して患者役を行っていただきました。学生は、これまでに学習した検温や清拭、足浴、更衣、車いすでの移送などの看護技術を実施させていただきました。学生にとっては、一般の方に援助を行わせていただくのは今回が初めての経験です。事前学習と十分な練習をした上で、期待と緊張でドキドキしながら演習に臨みました。教育ボランティアさんの名演技のお陰で、演習中の実習室は、本当の入院患者さんがおられる病室のようでした。

学生は練習した援助を一生懸命に行いましたが、お身体を拭く時に患者さんから離れすぎていて十分に安全が確保できなかったり、患者さんから予想外の質問をされて答えられなかったりと、学習や練習がまだまだ必要であることが実感できる体験となりました。また、教育ボランティアさんから、「患者は看護師にわがままをきいてほしいものだ」と患者の本音を聞かせていただくなど、実習でも体験できないような貴重な話やアドバイスをいただきました。

さらに、学生達の未熟なケアに対しても「気持ち良かったよ。ありがとう。」と温かいコメントをくださる教育ボランティアさんの言葉に、学生はとても感激し、看護の楽しさややりがいを感じていました。また、その学生の姿を見て感激される教育ボランティアさんもおられました。学生の中には、「この感激は一生忘れません」と感想を述べる者もあり、学生と教育ボランティアさんとの温かい交流のある充実した学習時間になりました。この経験は、基礎実習で初めて患者さんをケアさせていただく時にはもちろんですが、これからの学生の看護師としての人生にも、きっと役立つだろうと思います。

教育ボランティアの皆様、本当にありがとうございました。

(基礎看護学分野：澁谷 幸)

看護技術演習とは？

看護技術演習は、看護師が患者様のケアを行うために必要な技術を学ぶ演習科目で、看護師になるために身につける必要のある最も基本的な技術学習です。この学習は、単純なマニュアル通りの技術を身につけるというのではなく、患者様が不安なく安全に援助を受けられるように、様々な配慮を行いながら実施できるようになることが目標となります。

「教育ボランティア」さんは、現在も募集中です。お友達やご近隣の方をお誘いいただき、是非学生の教育にご協力ください。

ご登録希望やお問い合わせは、神戸市看護大学 地域連携・国際交流センター；古谷（078-794-8080：学校代表番号）までお願いします。

編集・発行

神戸市看護大学

地域連携・国際交流センター

地域連携運営委員会



【教育ボランティアさんによる授業の様子】